

報道関係者 各位

令和4年12月22日(木)
【照会先】
子ども家庭局家庭福祉課
室長 補佐 西浦 啓子 (内線 4892)
自治体支援係長 五十嵐 広和 (内線 4849)
自治体支援係 宮下 信吾 (内線 4898)
(代表電話) 03(5253)1111
(夜間直通) 03(3595)2166

令和4年度「ヤングケアラー認知度向上のための広報啓発」について

ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこどものこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。

厚生労働省では、2022年度から2024年度をヤングケアラー認知度向上の「集中取組期間」とし、ヤングケアラーに関して、わかりやすく、広く関心を集めるような広報・啓発活動を実施します。

令和4年度は以下の取組を実施します。

記

1. 貫地谷しほり×元ヤングケアラー —ヤングケアラー「ほんとのきもち」— のコンテンツ配信
ヤングケアラー当事者のケアをしていたときの気持ちや、周りにどう接してほしいかなどの“ほんとのきもち”を知っていただくため、女優の貫地谷しほりさんをインタビュアーに迎え、元ヤングケアラーの方に話をお聞きしました。知って欲しい“ヤングケアラーの声”を、皆様にお届けします。



プロフィール：

○貫地谷 しほり (かんじや しほり)

生年月日：1985年12月12日

出身地：東京都

2008年に第32回エランドール賞新人賞を受賞。2013年に公開された初主演映画「くちづけ」は第56回ブルーリボン賞主演女優賞を受賞。

2022年には舞台「頭痛肩こり樋口一葉」で樋口夏子（一葉）役を熱演し、数々のテレビ、映画、舞台、の活動に留まらず声優やナレーションなど、様々な分野で幅広く活躍している。

動画（PR版、本編の2種類）



-PR版（41秒）-

<https://www.youtube.com/watch?v=jLtkGN4p5S8>



-本編（21分32秒）-

<https://www.youtube.com/watch?v=iKYgIm3Hv1Q>



Web記事

まだヤングケアラーという言葉が知られてなかった頃から、家族の介護と、そこから生まれる様々な悩みを抱えたこともたちがありました。今回ご登場いただいた金子さん、仲田さんも、そんなヤングケアラーだった方々です。



現在もご家族のケア、またその経験から進まれたお仕事と、公私ともにケアにかかわるお二人に、当時の想いや、ヤングケアラーといわれることもたちを取り巻く課題などを、明治のヤングケアラー・樋口一葉を舞台で演じられたことから、この問題に関心を寄せる女優の貫地谷しほりさんがうかがいました。



<https://www.mhlw.go.jp/young-carer/interview/>



2. ヤングケアラー「オンライン交流イベント」の開催

－仲間とわいわいおしゃべりしよう－

普段は周りの友達に話づらいことも、同じ経験をしているヤングケアラー同士でなら話せることもあるかもしれません。

オンライン交流イベントは、ヤングケアラーの経験談や周りの方の寄り添い方を、有識者・支援者・当事者と深掘りする第1部、元ヤングケアラーのファシリテーターを交え、ヤングケアラー同士が現状について気兼ねなく話し合い、交流を深める第2部、各種サポートやコミュニティを参加者のみなさんに知っていただく第3部の構成で開催します。

- ・日 時 令和5年2月4日（土）14：00～16：30
- ・開催方法 オンライン開催（第1部：特設サイトにてリアルタイム配信）
（第2部及び第3部：Z o o m）
- ・参加対象 第1部：どなたでもご参加いただけます。
第2部及び第3部：ヤングケアラー当事者の中学生・高校生
- ・定 員 50名（事前申込制）
- ・備 考 第1部（～14：35）は、申込不要でどなたでもご覧いただけます。



文字サイズ 小 中 大

こどもがこどもでいられる街に。

ヤングケアラー
「オンライン交流イベント」
仲間とわいわいおしゃべりしよう

集まるのは全員、家族などのケアの経験があります。
普段は周りの友達に話づらいことも、同じ経験をしている同士でなら話せることもあるかもしれません。

全国オンライン開催

令和5年2月4日(土) 14:00～16:30

無料でご参加いただけます。

https://www.mhlw.go.jp/young-carer-event_20230204/



3. レコメン! シェアリング ～ 学ぼうヤングケアラー ～ の動画配信

文化放送のラジオ番組「レコメン!」とのタイアップ企画。芸人のオテンキのりさんがパーソナリティを務め、元ヤングケアラーでもある教育系 YouTuber の葉一さん、一般社団法人ヤングケアラー協会代表理事の宮崎成悟さんが参加してその苦労や孤立してしまいがちな心理状態など、経験者ならではの思いを語ってくれました。

さらに、現在進行形で家族の世話をしている大学4年生と高校3年生もリモートで参加し、日常で感じている思いや戸惑いなどを話してくれました。

動画（前編、後編の2種類）



文化放送 & レコメン!
MON-THU 22:00-25:00
www.horikawa.co.jp

学ぼう ヤングケアラー

「レコメン!」パーソナリティ
オテンキのり
OTENKI NORI
〈お笑い芸人 / 文化放送「レコメン!」パーソナリティ〉
中学生から大学生まで柔道に打ち込み、高校時代は千葉県チャンピオン。スウェーデン発祥の薪投げゲーム「クッパ」の協会公認普及指導員であり、最近では世界大会にも出場している。

葉一
HAICHI
〈教育系 YouTuber / 元ヤングケアラー〉
東京学芸大学を卒業後、営業職、塾講師を経て独立。2012年に Youtube チャンネル「とある男が授業してみた」を開発。チャンネル登録者数 180 万人を超える。

宮崎成悟
SEIGO MIYAZAKI
〈一般社団法人ヤングケアラー協会代表 / 元ヤングケアラー〉
15 歳の頃から難病の母のケアを担い、大学卒業後、国内大手医療機器メーカーに入社。3年で介護離職。その後、複数社を経て、2019年に一般社団法人ヤングケアラー協会を設立。

<https://www.joqr.co.jp/ic/article/66260/>



その他にも各種広報・啓発活動に取り組んでいます。
詳細は、以下の厚生労働省特設サイトをご覧ください。

<https://www.mhlw.go.jp/young-carer/>



以上